

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	16	0403	賢治のまちづくり推進事業(とりまとめシート)	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり					
対象	市民、観光客					
意図	賢治および賢治のまち花巻の魅力を感じてもらう					
事業概要						
賢治のまちづくり推進事業 ○賢治を学ぶ場づくり (事業) 賢治セミナー、賢治の世界セミナー、宮沢賢治賞・宮沢賢治イーハトーブ賞等 ○賢治イベントの開催 (事業) 全国高校生童話大賞、宮沢賢治生誕祭全国俳句大会等 ○賢治の香りあふれるまちの整備 (事業) 賢治ゆかりの地案内板等整備、宮沢賢治記念館入口看板更新 ○賢治情報の発信 (事業) 賢治カレンダー 市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	○ 実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	セミナー等開催回数	回	計画	44	46	
			実績	36	32	
②	賢治イベント実施回数	回	計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合	%	目標	49.0	62.0	
			実績	59.6	(アンケート後)	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<ul style="list-style-type: none"> ・宮沢賢治に関するセミナー等については、開催数は指標を下回ったが、学校等では1回の参加者数が多く、内容も好評であった。 ・著名人の講演や優れたコンテンツによるイーハトーブ・アニメフェスティバル等、賢治イベントの開催により、市民が賢治の考え方に触れ、賢治への理解向上が図られる機会となった。 ・賢治ゆかりの地の案内板は、台座追加により安全性と意匠面の向上が図られたほか、新たな紹介ポイントを4か所追加した。 ・平成24年度から年2回発行している賢治カレンダーについては、アンケートを実施し、内容の見直しと改善を行った。 		
目的妥当性	公共関与の妥当性	より多くの市民、市外の方に賢治に興味を持ってもらうためには、賢治を学ぶ場を提供し、市が積極的にイベントを開催するとともに、景観を整備し、情報発信する必要があり公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	魅力的なセミナー・イベント等に市民が多く参加すること、及び賢治景観の整備、賢治情報の発信を行うことにより、賢治の作品や考え方に触れる機会が増大すると考えられる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	賢治アートの展示については、公募という形をとることにより、優れた作品をコストをかけずに展示することができる。また、イーハトーブ・アニメフェスティバルでは、国等の補助を最大限に活用し、一般財源の削減を図った。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民・市外の方に花巻の魅力を伝えることができ、受益機会と費用負担については公平と考えられる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等の実施にあたっては、受講生や関係団体の意見聴取を行うとともに、関係団体から講師を派遣するなど市民を巻き込んだ形でのセミナーを実施し、賢治を語る市民を増やしていく。 ・宮沢賢治賞・イーハトーブ賞については、これまでに宮沢賢治の優れた研究や賢治精神の実践的な活動を顕彰し、内外に広く周知されていることから宮沢賢治を理解するきっかけとなっている。 ・宮沢賢治生誕120年である平成28年に向け、賢治のまちづくり委員会を中心とした検討委員会を立ち上げ、内容を検討中である。国の支援を活用し、全国に賢治のまち花巻が発信されるイベントの開催を検討する。 ・賢治のゆかりの地案内板整備等、賢治の香りあふれるまちの整備は、市民、観光客が賢治及び賢治のまち花巻の魅力を感じてもらうために必要な事業である。 ・賢治カレンダーは、持ち歩きができ、賢治のふるさと感じることができ、情報紙として市民や観光客に好評で品切れとなることから、増刷を検討する。 		

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	16	0403	賢治のまちづくり推進事業(とりまとめシート)

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			70,923		70,923
財源内訳	国・県		19,916		19,916
	地方債				
	その他				
	一般財源		51,007		51,007

事業期間	単年度繰返	○	期間限定	[平成 25 年度 ~ 平成 28 年度]
部経営方針における目標				
文化の香り高いまちをつくります。				
事業開始の背景・経緯				
花巻市の強みである宮沢賢治を活かしたまちづくりを推進するため、各課でそれぞれ行っていた宮沢賢治関連事業を、平成24年度から「賢治のまちづくり推進事業」として位置づけ、統一した事業目的のもとに実施することとした。				
事業概要				
賢治のまちづくり推進事業				
○賢治を学ぶ場づくり (事業) 賢治セミナー、賢治の世界セミナー、宮沢賢治賞・宮沢賢治イーハトーブ賞等				
○賢治イベントの開催 (事業) 全国高校生童話大賞、宮沢賢治生誕祭全国俳句大会等				
○賢治の香りあふれるまちの整備 (事業) 賢治ゆかりの地案内板等整備、宮沢賢治記念館入口看板更新				
○賢治情報の発信 (事業) 賢治カレンダー				
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等				
・宮沢賢治関連施設等の整備、賢治イベントの開催にあたっては、平成28年の宮沢賢治生誕120年を目標に事業を実施する。 ・賢治のまちづくり委員会をはじめとする賢治関連団体や、地域の方々との連携を行いながら事業を実施する。 ・賢治情報の発信については、賢治のまちづくり委員会等市内の賢治関係団体との連携を図り情報収集に努めるとともに、市外で行われるイベント等についてもホームページ等で積極的に情報発信を行う。				

《事業手法の詳細》

【事業内容及び事業費】

《事業内容》

○賢治を学ぶ場づくり

賢治セミナー	115	市民講座として賢治セミナーを開催。全10回。
賢治の世界セミナー	1,387	市内小・中学生、一般を対象に、宮沢賢治作品を分かりやすく紹介する出前講座等を開催。全17回。
賢治の世界ワークショップ	366	市内小・中学生、一般を対象に、「こども劇」「ゆかりの地探訪」等のワークショップを開催。全4回。
宮沢賢治賞・イーハトーブ賞	3,988	賢治の名において優れた研究・評論・創作・実践活動者を顕彰

○賢治イベントの開催

全国高校生童話大賞	2,000	全国の高校生から童話作品を募集し、選考・表彰(表彰式12/21)
宮沢賢治生誕祭全国俳句大会	350	宮沢賢治生誕の日に開催する俳句全国大会の運営経費補助(開催8/27)
賢治の里花巻でうたう賢治の歌全国大会	500	賢治作品を歌う全国大会の運営経費補助(開催9/6)
賢治風のステージ	341	賢治をテーマとした歌や演劇等のステージ発表(公募)(開催10/11)
イーハトーブ・アニメフェスティバル	24,400	高畑勲氏ほかアニメの一線で活躍する識者の講演、アニメ上演を通じて賢治とアニメの関わりを紹介(開催10/11・12)
宮沢賢治創造演劇公演	1,704	わらび座パフォーマンスバンド「響」による舞台「風の又三郎」の公演(開催)
賢治アートストリート	76	「あなたが思う宮沢賢治」をテーマにした絵画等を市内小中学校、高校から募集し、モニュメントへ展示

○賢治の香りあふれるまちの整備

賢治ゆかりの地案内板等整備	7,550	市内の賢治ゆかりの地を紹介する案内板(台座追加10基、新規追加4基)等を整備
---------------	-------	--

○賢治情報の発信

賢治カレンダー	1,739	賢治の年表やゆかりの地、イベント、お土産品などをまとめたカレンダーを作成・発行(2回×10,000部)
---------	-------	---